

## 東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

国土交通省におかれましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道立体化への取組につきまして格別のご配意を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、本年度当初、足立区が事業主体となる東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業を、新規着工準備箇所として採択いただき感謝申し上げます。

足立区は、鉄道の比較設計や関連事業計画の検討等を実施し、平成23年度の事業着手を目標に、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

また、鉄道立体化に合わせたまちづくりにつきましても、区北部の地域拠点として、鉄道立体化に合わせた都市機能の更新、地域商業の活性化等を図ってまいりたいと考えております。平成18年度に地元代表者によるまちづくり連絡会を立ち上げ、地域住民との協働により、まちづくり構想策定に向けて精力的に検討を進めてまいります。

こうした取組に加え、足立区は、連続立体交差事業の確実な実施を担保するため、平成17年度に竹の塚鉄道立体化資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えております。

つきましては、「開かずの踏切」等における悲惨な事故や慢性的な渋滞の解消等を図るためには、踏切の除却対策を促進することが必要であり、

- ・ 道路特定財源の現行の暫定税率の維持
- ・ 地方の道路整備の推進に必要不可欠な地方道路整備臨時交付金の継続

を行い、区施行による東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近連続立体交差事業の早期実現に向け、今後とも財政面及び技術面における格段のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成20年2月18日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長  
足立区長 近藤 や よ い(印)

国 土 交 通 大 臣 冬 柴 鐵 三 様